

声や言葉での働き

「ば」や「ぱ」や「ま」の行は唇を使わないとうまく発音できません

中村先生



カズマ

口の中でモグモグとこぼさずにかめたり飲み物を吸ったりできるのは、唇がふたの役割をしているからです

カズマ っていうぞ



和真くん ぼくの名前も言えなしたるんだね

上唇



下唇 皮膚

唇は皮膚ではなく口の中の粘膜がめくられて外に出たものです

表情をつくる

顔の表情は人とコミュニケーションをとるのにとっても大切で、唇は特によく動くので重要です



唇を使って相手に怒りを伝えたりもします



オイらはかまらずに丸飲みだ

飲食での働き

動物の口はそれぞれの生活のなかで、形を変えてきました

唇があるから赤ちゃんは母乳を上手に吸うことができます



イラスト: なかしま しゅういち(グラフィックス部)

くちびるは何のためにあるの

くちびるを見ていたら、形が不思議だなあと思いました。くちびるって、何のためにあるのかな、と思いました。ぼくは、くちびるがなくても、口が開けばいいと思います。教えてください。

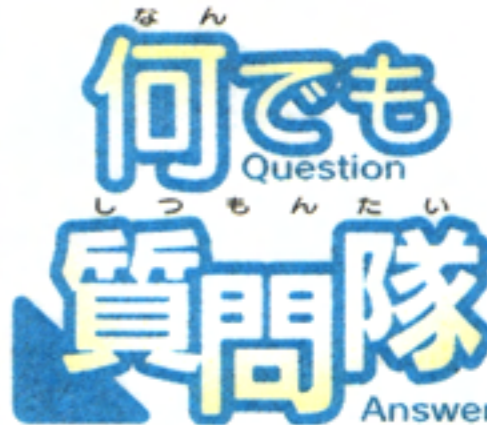


田中小3年(伊佐市) 西 和真君

中村 典史さん
鹿児島大学大学院医学歯学総合研究科教授

お答えします

唇は哺乳動物に発達した、口の周りのよく動く「ひだ」で、上唇と下唇があります。合わせた形は細長い木の葉の形ですが、上唇は中央部が少しくぼんでいます。天使が持つ弓を横にしたような形をしているので、キュービッド弓とも呼ばれます。上唇は不思議な形ですよね。お母さんのおなかの中で赤ちゃんが育つ最初の時期(5〜8週目くらい)、顔の部分に「くちびる」ができて始めます。このとき、あごになる部分の一部と、鼻から伸びた部分の一部がくっついてできます。上に唇に2本の縦スジと中央の凹みがあるのはそのためです。ヒトの唇は、ひだの内側が外側にめくられて分厚くなり、赤い色



- 324 -

食事や発音するとき活躍

をした赤唇という粘膜に覆われています。オランウータンなど一部の哺乳類は赤唇をめぐれさせることができますが、赤い唇があるのはヒトだけのようです。ヒトの唇は、飲食の際に閉じて口から食物が出ないようにしたり、口の中の圧力を下げて水分を吸いやすくする働きや、発音する時に空気の流れを調節してさまざまな音を作ったり、笑顔や怒りなどの感情を表現したり、コミュニケーションをとる働きもあります。少し実験をしましょう。親指と人差し指で唇が開いた状態を作ってみてください。そして、コップの水をストローで吸うと...簡単には吸えませんね。同じ状態で「アンパンマン」と言ってみてください。「アンパンマン」となりませんか? 「パニパニマ」は唇で音を作るので、唇が働かないとその音が上手く作られません。動物の口の形はさまざまです。口の先が細長く飛び出たものや、鳥のようにくちばしを持つものもいます。皆、進化の過程で、それぞれの生態に合わせて変化してきました。哺乳類は柔らかく動く唇が発達して、母親の母乳を吸ったり、多様な食物を食べられるようになったのではないかと考えられます。